

神戸港で新たに船舶への陸上電源供給を開始！ ～カーボンニュートラルポート形成を目指して～

神戸市は、神戸港 新港第1突堤の公共ふ頭において、新たに船舶への陸上電源供給を開始します。脱炭素化の機運が高まるなか、神戸港が世界から選ばれる港になるために、カーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けた取り組みを進めております。船舶へは再生可能エネルギー由来の電力を供給することで、100%の脱炭素化を実現します。



1. 導入目的

船舶は港に停泊中においても、照明や冷暖房などの電力が必要であり、重油でエンジンや発電機を回すことによって、発電しております。この度、導入する陸上電源により、船舶がアイドリングストップすることにより、温室効果ガスの排出を削減します。

2. 設置場所

神戸港 新港第1突堤 西側岸壁



3. 供給開始日

2023年11月28日(火)

4. 供給対象船舶

大成丸(練習船/船長 約91m) ※所持: 独立行政法人 海技教育機構



5. 陸上電源供給システム

